

教育委員会「点検・評価」報告書
(平成29年度事業対象)

柏原市教育委員会

平成30年12月

目 次

I 点検・評価制度の概要	1ページ
II 点検・評価実施状況	2ページ
III 個別ヒアリングの状況について	5ページ
IV 点検・評価に関する学識経験者からの意見・助言	19ページ

I 点検・評価制度の概要

1 経緯

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)が改正され、地教行法の改正目的である「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして、同法第26条の規定に基づき、教育委員会が毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、これを公表することが義務付けられた。また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとするものとされた。

本報告書は、地教行法に基づき、平成29年度(2017年度)の柏原市教育委員会の点検・評価を取りまとめたものである。

2 目的

教育委員会は、首長から独立した立場で地域の学校教育、社会教育等に関する事務を担当する行政機関として、すべての都道府県及び市町村等に設置されている行政委員会である。その役割は、専門的な行政官で構成される事務局を、様々な属性を持った複数の委員による合議により指揮監督(レイマン・コントロール)し、中立的な意思決定を行うものとされる。

事務の点検・評価は、地教行法第26条の規定に基づき、教育委員会が教育長以下の事務局を含む広い意味での教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としている。

3 対象事業の考え方

今回の点検・評価の対象事業は、前年度である平成29年度分の事業実績と平成30年度の取組み計画・状況について実施した。その対象範囲は、地教行法第26条で「教育委員会の職務権限」として規定されている事務の範囲とするが、本市及び本市教育委員会により策定された柏原市教育振興基本計画に基づいて、教育委員会が行っている基本方針より重点事業を網羅する形で対象事業を選定した。

4 学識経験者の知見の活用

地教行法第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会事務局が行った点検・評価(自己評価)の結果について、選任した学識経験者2名から意見を聴いた。

学識経験者の選定にあたっては、本市にゆかりのある方で、広い観点からの知見を期して、高等教育や教員の人材養成に携わっていた識見の高い方の知見の活用を考慮した。

評価員名簿（敬称略）

- 手取 義宏（大阪教育大学教授）
- 青木 進（元柏原市立小学校長）

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）

第26条（教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 点検・評価実施状況

1 評価員による点検・評価及び評価員会議開催状況

○平成30年7月9日（月）から平成30年8月7日（火）まで
各課事務事業の点検・評価シート等による評価員の点検・評価

○平成30年8月31日（金）午後1時30分～午後5時15分
第1回 柏原市教育委員会の事務の点検及び評価に関する評価員会議
会議内容：課（館）ごとに個別ヒアリングを実施

○平成30年9月3日（月）から平成30年9月28日（金）まで
評価シート及び個別ヒアリング等による評価員の点検・評価

○平成30年10月2日（火）午後1時30分～午後4時
第2回 柏原市教育委員会の事務の点検及び評価に関する評価員会議
会議内容：委員会「点検・評価」報告に関することについて

2 点検・評価実施手法

【事業シートの作成】

柏原市教育振興基本計画に掲げる基本的な目標の実現に対する4つの基本方針を基にした重点事業より、各課（館）で実施事業ごとにシートを作成。

○柏原市教育振興基本計画に掲げる4つの基本方針と重点事業

(基本方針1) 幼小中一貫教育を推進します

- (1) 中学校区を単位とした学校・家庭・地域の連携強化
 - ・教師間連携
 - ・子どもの交流・連携
 - ・学校・家庭・地域の連携
- (2) 11年間を通した子どもの育成
 - ・幼小中一貫教育推進教員の配置
 - ・学習意欲や学力の向上
 - ・生活指導上の課題の解決
- (3) 特色ある幼小中一貫教育推進事業の展開
 - ・中学校区の特色ある教育の推進
 - ・一体型一貫校の計画の推進
- (4) 地域連携型中高一貫校の推進
 - ・柏原地域連携型中高一貫教育推進委員会の開催
 - ・連携入試の課題と方向性の検討
 - ・連携事業の実施

(基本方針2) 知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます

- (1) 幼児教育の推進
 - ・幼稚園教育の推進
- (2) 子どもたちの確かな学力の確立
 - ・各学校を支えるプロジェクトチーム
 - ・学習意欲や確かな学力の向上
 - ・府教委や市教委の学力向上方策
- (3) 豊かな心の育成
 - ・いじめ、不登校への対応
 - ・人権教育の充実
 - ・道徳教育の充実
 - ・キャリア教育の推進
- (4) 健やかな体づくりの推進
 - ・体力づくりの充実
 - ・学校保健の充実
 - ・学校給食の充実
 - ・部活動の活性化

(基本方針3) 社会全体で健やかな子どもを育みます

- (1) 家庭の教育力の向上、学習習慣の定着
 - ・教育に関する相談支援の充実
 - ・家庭での学習習慣の定着

- (2) 地域の特性やボランティア等を活かした教育の充実
 - ・わがまち柏原を学ぶ「柏原学」の推進
 - ・地元大学と連携した学習機会の充実
 - ・学校支援ボランティアの充実
 - (3) 青少年の健全育成
 - ・青少年健全育成活動の推進
 - ・青少年育成団体支援の推進
 - ・青少年講座の充実
 - (4) スポーツの振興
 - ・生涯スポーツの振興
 - ・スポーツ環境の充実
 - (5) 生涯学習の充実
 - ・社会教育施設の整備、充実
 - ・社会教育施設を使用した生涯学習の推進
 - ・公民館の活用
 - ・図書館の活用
 - ・文化財の保存、整備、活用
 - ・文化財に関する知識普及と啓発の推進
- (基本方針4) 安心・安全で質の高い教育環境をつくります
- (1) 教職員の資質の向上
 - ・教職員の研修の充実
 - ・ミドルリーダーの育成
 - (2) 安全、安心な教育環境の整備
 - ・子どもの安全の確保
 - ・安全、安心な施設環境の構築
 - ・学校の適正規模化、適正配置の推進
 - ・安全、安心な給食施設の維持、運営
 - (3) 教育機会の均等と確保
 - ・支援教育及び支援体制の充実
 - ・就園、就学への支援
 - ・奨学金制度の充実

○シート項目について

1. 重点事業
2. 実施事業名
3. 事業概要
4. 主な取組み状況・・・

平成29年度の取組み状況（実績・成果・反省点） 今回の点検・評価対象事業

平成30年度の取組計画・状況

5. 点検・自己評価
6. 成果指標
7. 現状と課題・・・

柏原市教育振興基本計画の進捗状況

昨年度の点検評価による課題等の状況

新たな課題等

8. 今後の方向性

Ⅲ 個別ヒアリングの状況について

第1回柏原市教育委員会の事務の点検及び評価に関する評価員会議において、個別に質疑応答形式によるヒアリングを実施した。ヒアリング内容は以下のとおりである。

[評価員の意見の各課の回答など]

<公民館>

【質問事項①】

- ・ 茶道教室の取組みは非常に有意義だと思います。頻度としては月1回、水曜の午後に堅下小学校、堅下幼稚園で午前中ということでしょうか。これはさまざまな所への広がりには難しいでしょうか。

【回答概略】

この取組みは「伝統文化子供教室」ということで、団体が国の補助金の交付を受けて行っている事業です。補助金には伝統文化という縛りがあり、また、予算的なことから幅広く展開というのは困難な状況です。幅広く各学校で指導するスケジュールの組み方も現状として難しいと聞いております。公民館としましては、毎年3月に講堂で修了式を行うなど、会場の提供といった側面から後援している状況です。

【質問事項②】

有料化の影響についてお聞かせください。

【回答概略】

利用者の減少はございません。4月から使用時間帯を今まで5区分で実施していたものを、3区分に変更しました。これによって資料としての件数については、枠が減少していることによって統計上10パーセント減となっています。正確な検証は改めて必要ですが、区分変更後の6月と7月を比較して減少しておりませんので、減少していない

という評価をしております。

【質問事項③】

それぞれの講座の参加費は実費徴収されるのですか。

【回答概略】

何かものを作るということであれば、材料費は別途いただいております。参加費は1回あたり300円程度いただいております。また、公民館が会計処理をしております。

【質問事項④】

受講者アンケートについてですが、具体的にどのような質問をされているのですか。

【回答概略】

お手元の資料にもございますように、満足、やや満足、といったようにアンケート用紙に記載しておりますので、そちらを選択していただきます。

【質問事項⑤】

平成29年度の公民館本館の年間貸室件数というのが、約1700とあって平成30年度の見込み件数は約2600件で900件程の差があります。先ほどのご説明のとおり、件数でいえば枠が減ったのなら減るのではないですか。

【回答概略】

平成29年度として目標との比較が59%でありました。今年度は枠が減ったとは言え、2か月過ぎたところですので、大きな目標として記載させていただきました。

【質問事項⑥】

目標の設定値は何を根拠にされているのでしょうか。

【回答概略】

夜間はよくご利用いただいておりますが、平日の日中は利用者が多くありません。公民館としては、8割程度の稼働が目標値と考えています。

【評価員からの要望】

耐震についてですが、ご回答もいただいておりますが、公民館、教育委員会としてこれ以上どうしようもない部分もあろうとは思いますが、引き続き耐震化についての取組みをお願いします。

【質問事項⑦】

国分分館の利用者数が前年比116%と高くなっている理由は。

【回答概略】

詳細な分析ができていないところですが、国分地区の団体の活動が活発なのか、あるいは、先ほどご指摘いただきました目標の設定値との兼ね合いもあるのではないかと推測します。

<図書館>

【質問事項①】

柏原コーナーということで、柏原市のさまざまな分野について展示されているのですね。どの程度のスペースで行われていますか。

【回答概略】

この委員会室のロッカー2つ分程度です。利用者の方からは、近隣市の情報も並べて設置してほしいというお声もありますが、スペース的に厳しいですし、我々としては歴史だけでなく、子育て関係の情報など、もっと柏原のものを置きたいと思っています。

【質問事項②】

いろいろな取り組みをされている中で、絵本作家を招いての読み聞かせをされていますが、どの程度の頻度でされているのですか。

【回答】

絵本作家の方にお越しいただけるのは数年に1回程度です。普段は国分図書館の図書館司書が中心となって、読み聞かせの勉強会を行っておりまして、ボランティアの方々に読み聞かせをしていただいています。

【質問事項③】

展示スペースの確保についてですが、フロアの面積が少ないのであれば、公民館の一室を利用するといった対応はできないでしょうか。

【回答】

既に実施しておりまして、ボランティアの勉強会等に利用させていただいています。ただし、一般の利用者さんには解放しておるわけではありません。

【質問事項④】

展示実施回数の目標が150回で実績が213回。達成度が142%となっていますが、達成度目標値の設定根拠についてお聞かせください。

【回答】

年度当初にイベントの計画を立てるのですが、著名な作家さんがお亡くなりになった際などには緊急の展示を実施しますので、その分当初の目標値を上回る傾向にあります。

【質問事項⑤】

職業体験で障がいのある生徒を受け入れたことで、図書館として学んだことはありますか。

【回答】

受け入れ前には本当に安全を担保できるのかという不安はありましたが、学校では通常の学校生活を送っているとのことでしたので受け入れを決定させていただきました。結果として何ら問題なく過ごしていただいて、こちらとしてもスロープや障がい者用トイレなど施設の利用面でも勉強させていただきました。貴重な経験をさせていただいたと思っています。

【質問事項⑥】

電子書籍の導入についてご教示ください。

【回答】

導入しておりません。聞き取りでは著作権の切れたものくらいしか読めないということでした。また、書籍の供給会社が倒産してしまい供給されなくなるということもあり、端末間の互換性が無く運用が難しいという状況でした。近隣の図書館も導入していないと把握しております。業者との会話の中で、本はやはり紙で読むもので、端末での読書というのは根づかなかったのか、業者は撤退する傾向にあるとのことでした。

<文化財課>

【質問事項①】

龍田古道の日本遺産申請の件ですが、何年か前からお話はあったかと思いますが、見通しについて教えていただけますか。

【回答概略】

3年前には三郷町の方から働きかけがあって、こちらも動いていたのですが、三郷町さんの方で2市町では少ないので平群町や斑鳩町も入れたいという思いがあり、大和川と

いう括りからも 2 市町で進めたい本市との間で話が停滞していたのですが、ちょうど 1 年ほど前に正式に柏原市と 2 市町で進めたいというお話がございました。市の大きな事業ですので窓口は企画調整課、文化財関係は文化財課、観光、産業については産業振興課の 3 課で準備を進めているところでございます。日本遺産について、去年は申請 7 6 件のうち認定 1 3 件とかなり審査は厳しいのですが、実現できれば広域市の間で、かつ市民との協働もできる非常に意義のある事業になると思います。

【質問事項②】

歴史資料館の市民に対してのアピールについてお聞かせください。

【回答】

広報に資料館 2 5 周年ということで特集を組みまして、反響がありました。それ以外にも、柏原市だけでなく他市からの問い合わせも多く、特別新しい手法というわけではありませんが少しずつアピールできているのかと思います。それと、やはりテレビの影響力は大変大きく、放送があった際には問い合わせ等も非常に多くなります。緊急の展示をするなど、そういう機会も上手く利用しながら、今後も市民に注目してもらえるような事業を展開していきたいと思えます。

<社会教育課>

【質問事項①】

子どもを見守るという意識はとても重要だと思うのですが、これを形式的なことだけでなく、実質的に意識なり、構造なりが向上していく必要があると思うので質問させていただきました。ご回答では問い合わせの内容から今までより意識が高まっているということですが、実際はいかがですか。

【回答概略】

こども 1 1 0 番の家については、名簿の整理を現在行っておりまして、今までは延べ人数で集計していたものを実数で整理しております。ですので見かけの数字としては減少しても、申込も随時いただいており、実数は増加しておりますので、やはり市民の意識も向上しておると認識しております。

【質問事項②】

大阪府教育委員会が作成した教材を活用した講座ですが、のべ人数と実施回数から平均 9 名と考えていいのですか。この人数が多いか少ないかというのはいかがお考えですか。

【回答概略】

はい。9名程度の受講がございました。事業の経過としまして、平成26年度までは社会教育課の所管でして、その後3カ年子ども政策課が所管し、本年度から再度社会教育課の所管となりました。これは更なる充実を図るべく社会教育課でお預かりすることとなりました。委員のご指摘も含めまして、事業をもう一度見直しいたしまして、開催数を増やすなど、改めて充実努めてまいりたいと考えております。

【質問事項④】

放課後子ども教室について課題はありますか。

【回答概略】

学校教育と並行して、子どもの居場所づくりを大事にしています。課題は2つございまして、ひとつはボランティアスタッフの数についてです。もっと厚みを持たせたいと思っています。もう一点は校区ごとの相互理解を広げる必要性についてです。自分の校区については当然理解していますが、他の校区については理解が不足しているように思います。交流会のような校区ごとの意見を出し合う機会を設けられるように動いておりまして、これを活用していただけるよう持っていきたいと考えております。

【質問事項⑥】

青少年講座についてですが、既存講座のマンネリ化の解消とありますが、マンネリ化しているとするならば、その理由は为什么呢。

【回答概略】

科学講座、歴史講座等の講座を従来から行っておりますが、当然児童は初見ですので、マンネリということはありません。通年にある講座に新しい講座を展開できないかということです。例えば今年は関西福祉科学大学からお声をいただいて、講座を実施したところ好評をいただきました。マンネリ化という表現は不適當であったかもしれませんが、既存の講座を精査しながら、新しいものも取り入れていければと考えております。

【質問事項⑦】

成人式について

【回答概略】

平成29年度については多くの参加をいただけて、参加者576名、参加率は69.3%でした。これはアンケートに回答いただいた方だけの集計ですので、実数はもっと沢山の方がお越しいただけたと思います。理由としては、委員もご存じのとおり、本市の成人式は新成人自身が企画運営委員会を立ち上げ、2部構成の2部を企画運営していただいておりますことも一つかと思っております。

<スポーツ推進課>

【質問事項①】

堅下北スポーツ広場の詳細についてご教示ください。

【回答概略】

場所は柏原市北部。八尾翠翔高校と隣接する場所です。東は府が遊水地として利用します。西側については運動広場と多目的広場ということで、運動広場は約18,000㎡センターまで120mありますので、こどもの硬式野球は可能です。野球、サッカー、ラグビー、フットサル、ゲートボールなどについても多目的に対応可能です。多目的広場については約3,300㎡あり、使用料も頂かず、公園のように利用いただきます。ただし、遊水地内は法律上河川となり、構造物は設置できませんので、可動式の備品で対応いたします。運営については当面は教育委員会直営で対応いたします。駐車場については約100台駐車可能となっております。

【質問事項①-2】

地下に池を作るという計画を聞いた記憶があるのですが、また、大雨が降るとこの広場に水が入るといふことでしょうか。

【回答概略】

地下に池を作るとなると、文化財調査もございますし、工事が大掛かりになることもあり、大阪府からお借りする形で現状のまま利用させていただきます。また、この広場に水が入るといふことは、柏原市全体が水没するような、100年に1度の大雨でも降らない限りないと八尾土木事務所から確認しております。

【質問事項②】

スポーツイベントの参加者数の減少に対して見直しが必要ということで、見通しを回答いただいたのですが、いろんな方策があるとは思いますが難しいですね。

【回答概略】

柏原市そのものの人口が減少しております。委員もご存じかと思いますが、キンボール大会においては、従来の大会に加え、新たにJ Cさんが主催されて教育委員会が後援させていただくという形での開催を計画いたしております。現在のイベントの入口を増やすということで参加者を増やせないかということで取り組んでおります。

【質問事項③】

スポーツに親しむ環境を作るとのことですが、施設の維持管理が大変であろうかと思えます。

【回答】

イベントを週2回というのは限界がありますので、先ほど申しあげました多目的広場のようキャッチボールや、サッカーボールを蹴ったりといった、日常の中でのスポーツができる場所を提供できればと考えております。

【質問事項④】

体育協会との連携の中で、スポーツ教室の成果はいかがですか。専門性の高いものではなく、簡単にスポーツに触れることができる教室を増やすことはできませんか。

【回答】

成果がでるのは時間がかかりますが、バレーボールは長くやっておられます。強豪校で春高バレーに出場する選手など、個々ではございます。参加しやすい教室としては年に1度ウォーキング教室や、指定管理者のオーエンスが親子のスポーツ教室を開催しております。行きたいときに受け入れるというのは、受け入れ側は常に待つ状況を作る必要がある訳で、簡単ではないと思いますが、入口を増やして行きたいと考えております。

【質問事項③】

柏原シティキャンパスマラソンについてですが、市民からの評価についてお聞かせください。

【回答】

坂道が非常に厳しい特色のあるコースでして、「同日に大きなマラソン大会があるので、日程を変更してほしい。」といったお声もいただくなど、回を重ねるごとに愛好者の方々から一定の評価をいただいております。

<学務課>

【質問事項①】

中学校のクラブ活動の助成についてですが、各校へ均等に振分けされているのですか。

【回答概略】

学校によってクラブの数、部員数が異なりますので、各校均等ではなく、それらをもとに工夫して割り当てております。

【質問事項②】

国分東小と国分小に統合についてですが、校区がかなり広くなりますがスクールバス導入の可能性はどの程度ありますか。また導入されるのであればその条件を教えてください。

【回答概略】

導入の方向で検討しております。今の状況で対象になる子供たちの人数が10人未満ですので、小型車での対応を想定しております。また、対象としては現在の国分小学校通学地域より遠くに住む子供が対象と考えております。

【質問事項②-2】

スクールバスに乗れるが否かの判断は、純粋に距離だけでの判断でしょうか。それとも障がいのある方などへの配慮をされるのでしょうか。

【回答】

現在のところ原則距離だけでの判断と考えております。ただし、必要に応じて何らかの配慮は必要かと考えます。

【要望】

今後に向け、スクールバス導入の基準を明確にしていく必要があると思います。

【質問事項③】

給食の地産地消についてですが、とても面白い取り組みだと思います。こちらは今年すでに取り組みましたのですか。

【回答】

以前から取り組んでおります。昨年は9月から3月の間で地域の食材か世界の料理を入れようということで、給食審議会と献立委員会で予算との兼ね合いを見ながら取り組んでまいりました。また、今年度も同様に取り組みを進めております。

【質問事項③-2】

純粋に給食のメニューだけで考えているのか、それとも学校行事と絡ませた取組みをされているのでしょうか。

【回答】

学校ごとの工夫となります。

【質問事項④】

クラブ活動の顧問について。補助指導員は確保できているのですか。また登録は何人いらっしゃるのでしょうか。

【回答】

学校からの要請があれば対応しております。登録は14名いらっしゃいます。

【質問事項④-2】

補助指導員が来られている学校については、教諭と補助指導員の両方が活動を見られているのですか。それともどちらかが見られているのですか。教諭の負担軽減に寄与していますか。

【回答概略】

実態は学校によって異なりまして、どちらかが出ている学校もありますし、補助として2人で対応されている学校もございます。負担軽減については各校によって異なります。

【質問事項⑤】

お盆休みの3日間閉校日についてですが、この期間中の転出転入の手続きがあった場合はどう対応されるのですか。

【回答概略】

6月から事前に周知をいたしました。また、実際にお手続きもありませんでした。

<指導課>

【質問事項①】

外国語のことですが、幼少中の連携について、具体的にどのように取り組んでいるのですか。

【回答概略】

本年度、学習指導要領も改定されるということで、英語教育推進会議というものを立ち上げており、年間の研修計画をたてて取り組んでおります。研修が重要ということで、特に不安を感じられている小学校の先生に対して全員を対象とした研修を行っています。同じく中学校の教員についても教員の連絡会議を企画しております。入試も年々変化しておりますので、テストを用いて生徒の学力をどのように評価していくかという部分で、富田林高校の蛭田校長先生をお招きして、実際に使われた定期テストの内容を見ながら

分析するという初めての取組みをします。また、併せて指導課から必要に応じて学校へ出向いて指導しております。小学校の先生は英語を使うことに抵抗がありますので、少しでも取り組みやすいようにということで、柏原版クラスルームイングリッシュ集という冊子を作成しております。英会話の定番の言い回しを使った、柏原市らしさを踏まえたフレーズ集にして各校へ配布する準備をしております。

幼稚園と小中をどうつなぐかというのが課題でございます。ALTや英語教員がお遊戯やクリスマス会で幼稚園に行ったりしておりますが、点と点の部分をもう少し繋いでいければと思っております。

【質問事項②】

3、4年生の成績が伸び悩んでいるということですが、もう少し詳しくお聞かせください。

【回答概略】

国語算数、特にまた本市全体の課題でもあるのですが、書く力というのが不足しています。合わせて問題を読み取る力、問いの中身を正しく理解する力に課題があると思われれます。

【質問事項③】

わくわくスタートの給食体験についてですが、「事業実施要項に記載の要件を満たすこととし、」とありますが、未就学児が給食を食べることについて、アレルギーの観点から非常に不安を感じます。

【回答概略】

幼稚園教諭からの聞き取りによりますと、給食を食べることを子どもたちには非常に喜ぶそうです。ただ、その要望が高い一方でご指摘のとおり不安もございます。小学校ではかなり詳細にアレルギーについて調べる一方で、給食体験はかなり簡易な形でしか調べていませんので、非常にギャップがあると感じています。気を付けて取り組んでまいりたいと思います。

【質問事項④】

学力向上推進講師についてですが、今年は一校あたり25名以上を目標とすると記載がありますが、取り組みについてお聞かせください。

【回答概略】

今来ていただいている講師の先生方は熱心に取り組んでいただいています。人員の配置など学校の細かい要望にもかなり柔軟に対応していただいています。子供たちも喜んでいきますし、私も実際に現場で見えておりましたが、非常に助かりました。保護者の方々

からの評判も高いです。

【質問事項④-2】

昨年の課題として、授業の進捗の把握が曖昧であったり、講師任せになっていたりと
いう記載がありますが、今年はいかがですか。

【回答概略】

そういう課題が全く無いというわけではありませんが、どちらかと言えばプラスが多
かったと思いますし、私自身現場では非常に助かりました。

【要望】

みんなの学習クラブについてです。授業中のプリントや、宿題の作成で使っていると
思いますが、あくまでも授業の流れがあつてのプリントですので、これがあればいいと
いうわけではないと思います。各校の担当者を招いての研修会などを開催されているの
で、よりよき活用に向け、一層の充実を図っていただくようお願いします。

【質問事項⑥】

長欠児童が増加したことになっているのですね。一概には減っていかない状況でしょ
うか。

【回答概略】

単純比較はできませんが、最新の情報で申し上げますと、昨年度と比較して現時点で
不登校の数は減っています。ただ、3学期で増加することもありますので楽観はできま
せん。各学校や教育研究所、適応指導教室でも丁寧な取り組みをしていただいています。
複雑な家庭も増えており、本当にさまざまです。スクールソーシャルワーカーも市単費
で導入しており、家庭支援にも入っていかなければならない中で、役割は非常に大きい
と思います。

【質問事項⑦】

プログラミング教育の取組み状況について教えてください。

【回答概略】

まだハード面で追いついていない状況です。ただし、ご存じのとおり必ずしもパソコ
ンを使って教育する必要がある訳ではありませんので、極端に申し上げればパソコンが
無くてもスタートすることも可能なわけですので、進め方など他市の情報を調査してお
るところです。

【質問事項⑧】

情報モラルの指導について、学校へどういった形で周知されているのでしょうか。

【回答概略】

かなり今でも取り組んでおります。と申しますのも企業が無料で、学年に応じて保護者を巻き込んで講演会などやっていただけますので、生徒指導**担当者**の会議で、やってくれる企業や講演会等の日程をお示しして、各学校で日程調整して行っています。

<こども政策課・こども育成課>

【質問事項①】

認定こども園開園時期の延期についてご説明いただけますか。

【回答概略】

まずは、こども園の建設予定地ですが、保健所、公民館分館のあった場所が現在広場となっておりまして、この上に新園舎を建設する訳ですが、現地調査を進める中で杭の残存があることが判明しました。しかし、当時の図面等が無く当該残存杭を手探りで引き抜く工事が必要になったことで2か月の工期の延長となりました。

また、撤去する現柏原保育所の園舎の部材にアスベストが含まれていることが判明したため、適切に除去すべく余分に1か月確保しました。それらの事態によって作業工程や設計期間を設けたため設計金額が増加しました。こういった事情と、昨今の建設費用の高騰もあり設計金額が6億円未満で想定しておりましたが、6億円を超えることになりました。これにより制限付き一般競争入札という複雑な入札方法を取らねばならず、都合9か月の延長となりました。スケジュールの変更については6月以降関係各機関、保護者、近隣住民にご説明させていただいたところです。

開園までのスケジュールを大まかに申し上げますと、平成30年度は設計業務の完了と、工事等のための債務負担行為の議決をいただいたのち、工事業者の選定および仮契約を締結いたします。平成31年度に入りますと、議決を経て本契約の締結。7月には工事着工しまして。工期は18か月間です。平成32年度中には新園舎が完成しますので、続いて旧園舎の解体と新園庭の工事に入りまして、新園舎の工事が完成次第柏原保育所の引っ越しし、新園舎での保育が開始。その後全ての工事を経て平成33年4月に認定こども園として開園いたします。

【質問事項②】

園舎の耐震性についてお聞かせください。

【回答概略】

平成29年度をもって小中学校全校の耐震工事がようやく完了しましたので、今後は幼稚園園舎の耐震診断を実施できるよう予算要求してまいりたいと考えています。

【質問事項③】

幼保の人事交流についてですが、これは認定こども園に向けてということでしょうか。

【回答概略】

そうです。それもありますし、認定こども園ができることによって、保護者は幼稚園、保育所、こども園の 3 つの選択肢ができます。同じ柏原市の中でそれぞれの質に差があっては理解を得られませんので、人事交流者だけでなく、全ての施設での教育保育の質の向上を目指します。

【質問事項③-2】

人事交流者の感想やメリットデメリットなど情報はありますか。

【回答概略】

本人たちの言葉では、ちょっとした環境は違えども、こどもを思う気持ちや目指すところは同じですので、時間はかかるかもしれませんが頑張りますということを行っています。交流者を預かる園長は、マンネリ化していた部分を見直すきっかけになったり、刺激を受けているということです。

<教育総務課>

【質問事項①】

施設一体型小中一貫教育校の現在の計画についてお聞かせください。

【回答概略】

柏原中学校区におきまして、施設一体型小中一貫教育校の設置を検討しておりましたが、地震等の災害からの生徒・教員の身体、生命の保全を優先すべきと判断し、耐震化工事を実施し、当面の安全性は確保されました。国分中学校区においては国分小学校と国分東小学校の統廃合も進んでおり、今後は市内全域の小中学校の状況を視野にいれながら、5年ごとの見直しとなっております柏原市立小中学校の適正規模適正配置の基本方針の中で再検討する必要性の出てくるかと考えております。

【質問事項②】

コンクリートブロック塀ですが、対応はこれからでしょうか。

【回答概略】

緊急事案については予算を専決処分において確保し、入札もすでに終わっておりますので順次工事に入ってまいります。次に緊急性のある箇所については補正予算を計上し

ておりますので、予算が成立次第順次取り掛かってまいります。

【質問事項②-2】

把握されている数を教えてください。

【回答】

現在、把握できておりますのは、総延長833mでございます。対応が必要なものにつきましては、優先順位をつけて安全確保に取り掛かってまいりたいと思います。

【質問事項③】

給食センターの老朽化について、費用面での問題はありますが、対応が必要と考えます。

【回答】

給食は勿論毎日のことですので、工事となれば長期間給食を作れない状況が生まれます。そのあたりも含めて給食組合で現在方法を模索されています。

IV 点検・評価に関する学識経験者からの評価・意見

(1) 手取 義宏 氏 (大阪教育大学教授)

今年も柏原市教育委員会各課から詳細な事業報告とそれについてのヒヤリングの機会をいただきました。大きな枠組みとしての基本方針と教育施策に沿って各課の取り組みを方向付けようとする取り組みが定着し、柏原市が目指す教育の姿がより鮮明に打ち出されているように感じます。

「基本方針 1 幼小中一貫教育を推進します」については、家庭・地域・学校の連携、幼保小中の学校園間の連携を軸に、さまざまな取り組みや研修を通じて教育力の向上が着実に進められています。今後も少子化や国際化などの課題に応じた工夫が継続されることを期待します。

「基本方針 2 知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます」については、学校における学力向上のための施策、人権教育の充実、スポーツ環境の整備など教育委員会として為すべき課題に意欲的に取り組んでおられることが分かります。

「基本方針 3 社会全体で健やかな子どもを育みます」については、図書館、公民館、文化財、社会教育、スポーツなどの各課が生涯教育や学社連携に積極的で、それぞれに新たな挑戦をなされていることに敬意を表します。

「基本方針 4 安心・安全で質の高い教育環境をつくります」については、限られた予算の中で耐震工事を進めつつ、各種施設の改修や新設、新校舎の建設などの仕事を地道に進められています。

このような大きな柱に沿ってそれぞれの持ち場で誠実に役割を果たそうとされていま

すが、内外の連携をさらに深めつつ、より実効的なP D C Aを押し進めて、さらに柏原らしい教育行政の実現を期待します。

(2) 青木 進 氏 (元柏原市立中学校長)

「柏原市教育振興基本計画」に基づき、各課がその取組を推進されていることに敬意を表します。

また、基本方針1. 幼小中一貫教育を推進します

基本方針2. 知・徳・体の調和のとれた子どもを育みます

基本方針3. 社会全体で健やかな子どもを育みます

基本方針4. 安全・安心で質の高い教育環境をつくります

に則り、取組状況、点検と自己評価、現状と課題、今後の方向性の設定を行い、事業の目標達成に向けて努力されていることに、改めて敬意を表すとともに所見を述べたいと思います。

まず、社会教育施設の取組としましては、市民のニーズを大切にされて実施されていることを評価したいと思います。今後さらに、現行の P C D A サイクルの継続実施とともに、適切な期間の目標設定のもと、生涯学習の一層の充実に向けた取組に期待します。

次に、基本方針3. に関わっては、家庭教育力の向上、青少年健全育成活動の推進など、地域ボランティアとともに取組を進められていることについて評価したいと思います。今後も、市民との連携、行政内での連携を、計画的に実施されることを期待します。

最後に、基本方針4. に関わってですが、今年度は、全国的に地震、大雨、台風による甚大な被害が生じている状況にあります。「安全・安心で質の高い教育環境をつくります」のもと、各施設における耐震や点検補修など、適切な対応を期待します。